

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		戸籍事務費[戸籍関係事務]														
予算科目	款	2	総務費	項	3	戸籍住民基本台帳費	目	1	戸籍住民基本台帳費	事業番号	2					
事業の種別		☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) ☐ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☐ 廃止したもの														
担当部署・課長名		市民			課			戸籍			係 課長名 長井 素子					
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号		行 - 2						
【施策名】 効率的でスリムな行政運営の実現								総合計画書(ページ)		122						
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)											
	戸籍届出 →				本籍数(3月31日現在)											
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)											
	正確に戸籍に記載し、素早く証明を発行できるようにする。 →				届出処理件数											
3	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)											
	届出受理後、平日中3日以内に証明書を出せるようにする。 →				戸籍証明書の発行件数											
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標								
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標								
	対象指標	①の数値	件	27,432	27,643	27,758										
	成果指標	②の数値	件	3,877	3,524	3,421										
	目 標	②の目標値	件			3,607										
	目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。) 平成31年度から令和3年度の平均値															
3 経費	事業費(実績)		円	22,357,434	35,092,162	36,441,444	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)									
	財源	一般財源	円	13,924,784	27,741,762	28,422,294										
		特定財源	円	8,432,650	7,350,400	8,019,150										
		(うち受益者負担)	円	8,347,650	7,267,900	7,542,550										
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	5.0	4.0	4.0										
		所要人数(再任用)	人	0.0	1.0	1.0										
		職員人件費(再任用以外)	円	41,550,000	33,520,000	33,000,000										
		職員人件費(再任用)	円	0	3,960,000	4,031,000										
事業費+人件費		円	63,907,434	72,572,162	73,472,444											
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く															
	職員の異動があった為、同じ処理速度は維持できていない。															
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く															
	各マニュアルを作成し、職員異動時に備える。															